

SEKONIC DIGI-SPOT

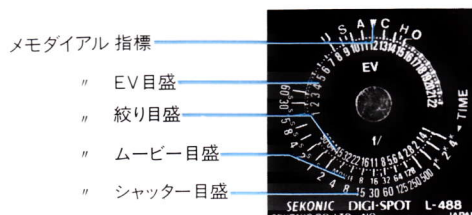
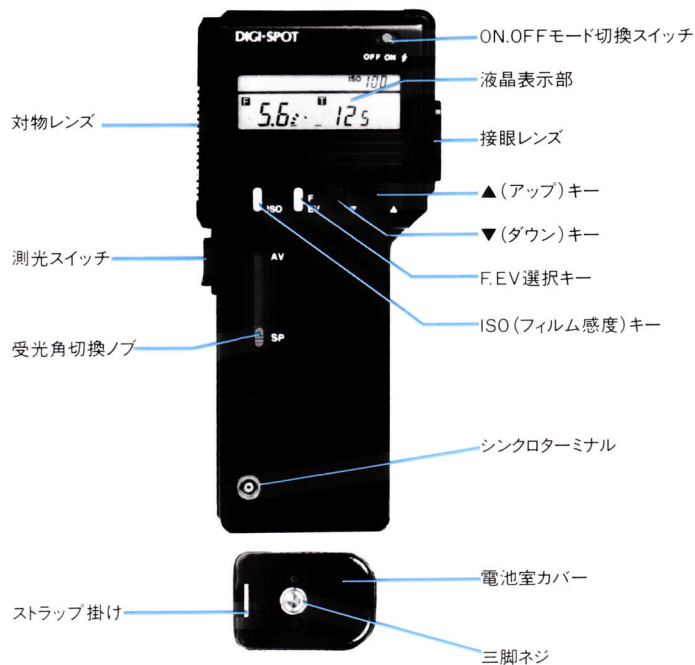
セコニック デジスポット L-488 使用説明書



お買い上げ
ありがとうございます
ございます

★使用前にこの使用説明書を必ずお読みいただき、セコニック デジスポット L-488の性能を十分にご活用ください。

各部の名称



仕様

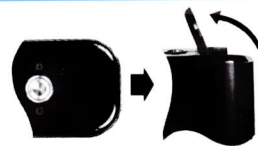
- | | |
|---------------|--|
| 測定、測光方式 | ● スポット、平均測光 2 段切換反射光式
● 定常光：フラッシュ光切換 測光 |
| 測定範囲 (ISO100) | ● 定常光 EV1～20
● フラッシュ光 F4～90 + 0.9 AV |
| くり返し精度 | ● ±0.1 EV |
| ファインダー | ● 逆ガリレオ式ファインダー
● 倍率…0.6倍 ● 視野角…36°
● 視野表示…受光角1°リング、測定値 |
| 受光素子 | ● シリコンフォトダイオード |
| 校正常数 | ● K=12.5 |
| 表示範囲 | (各数値の表示)
● ISO (フィルム感度) 3～8000 (1/3SV 単位)
● TI (シャッター速度) 定常光…30m～1/8000S (ITV)
フラッシュ光…1S～1/500S (ITV)
● F (絞り) 1.0～90 (ファインダー内も同一)
● EV (露出値) -4～24
● F. EV の小数項 0.1～0.9 (0.9) |
| その他の表示 | ● 測定範囲 E.U (アンダー) E.O (オーバー)
● 測定モード [M] 、 [EV] 、 [F] (フラッシュモード)
● バッテリーチェック、b.c [b.c] ～ [b.c] |
| 使用電池 | ● 単 III 乾電池 (2本) (R-6、LR-6) |
| 大きさ、重さ | ● 155×73 (51.5)×50 (35) mm () はグリップ寸法
約 250g |

測定の準備

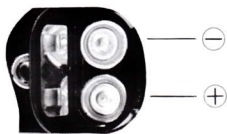
★この露出計は単 III 型乾電池 2 本 (1.5V)

1 電池を入れます

1 電池室カバーを矢印方向に引いて開きます。

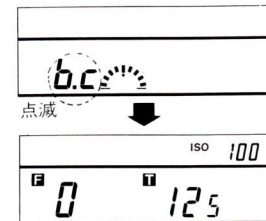


2 電池の極性を表示に従って正しく入れます。



3 電池室カバーを押しながら閉じます。

4 ISO キーを押したまま ON、OFF、モード切換キーを ON にすると、液晶表示部に b.c 文字、電池容量が表示されます。ISO キーを離すと測定モードに切り替わります。
(電池電圧が不足していると b.c が点滅又は表示されません。)



- 【注意】
- 電池電圧が低下しかかっている電池は一時的に b.c 表示はされますが異常な表示をすることがあります。この時は電池を交換してください。
 - スイッチを ON の状態で放置しますと省エネスイッチが動き 5 分後自動的にスイッチが切れ全て消灯します。再度使用する場合は ON、OFF、モード、切換スイッチを一度 OFF にしてから ON または **[M]** にしてください。
 - マンガン乾電池で測定できる時間は連続 20 時間が目安です。

■ファインダー内表示

測定値のFまたはEV値が液晶表示部と同時に表示されます。

平均測光(AV)時には、LED(黄)が点灯します。

受光角切替ノブをスポット測光(SP)にしたとき、このサークル内(1°)を測光します。(注)平均測光(AV)のときは、中心部表示の意味です。

F EV 選択キーに依り表示されます。但、(フラッシュ)モードのときはF表示のみです。

■液晶表示

(フラッシュモード)のときのみ表示します。

ISO(フィルム感度セット)キーと▼(ダウン)キー▲(アップ)キー操作によりフィルム感度が表示されます。ISO3~8000

① ON、OFF、モード、切替スイッチをONにしたときb、c文字の表示

② 測定F値の整数項表示 (定常光F1.0~90、フラッシュ光F4.0~90)

③ 測定EV値の整数項表示 (定常光のみEV-4~24)

① ON、OFF、モード、切替スイッチをONにしたとき電池容量の表示 (● ~ ●)

② 測定F値、EV値の小数項の表示 [● ~ (0.1EV) ~ ● (0.9EV)]

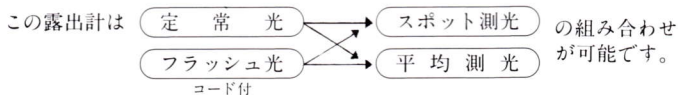
▲(アップ)キー▼(ダウン)キーの操作により設定タイムが表示されます。

- 定常光モード30m~1/8000 s
- (フラッシュ)モード1^s~1/500 s

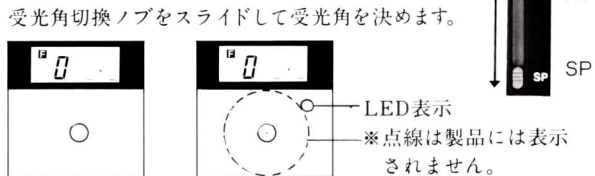
mは分、sは秒表示です。

V×2本3V)を使用します。(R-6又はLR-6を使用)

2 受光角と測定モード



a 受光角の切替え



SP (小円が測定範囲) AV (点線内約20°が測定範囲)

※受光角切替ノブは確実にSP又はAVにセットしてください。

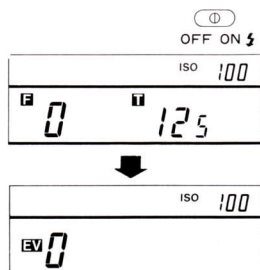
b 測定モードを決めます

測定モードは定常光モード(F値、EV値)とフラッシュモード(F値)があります。測定光源に応じて切り換えてください。

定常光モードの場合は、ON、OFF、モード切替スイッチをONの位置にします。

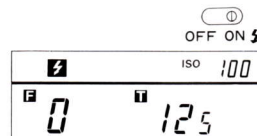
F、EV 選択キーを押すと、F EV 表示モードが交互に切り換えてきます。

※定常光モードは測光スイッチを押している間、明るさの変化に応じて測定値も変化表示します。



2 フラッシュモードはON、OFFモード切替スイッチを [] (フラッシュ) の位置にする液晶表示部 [] が表示されフラッシュ光測定モードになります。

※フラッシュモードは、ストロボと露出計をシンクロコードで接続した測定です。(専用シンクロコードは別売されています)

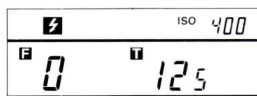
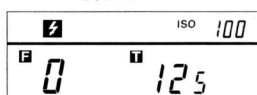


3 フィルム感度(ISO)を合わせます

● ISOキーを押したままISO値をあげるときは▲キーを押したときは▼キーを押します。(ISO設定範囲3~8000)

(例)右の下図は、上図よりISOキーを押したまま▲キーを6回押してISO 100→400に変換されています。

● ISOキーを押したまま▼キー又は▲キーを1秒以上押すと0.3秒間隔で連続変換できます。

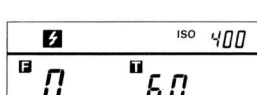
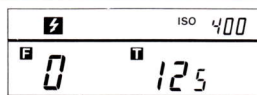


4 タイムを合わせます

▼キーまたは▲キーを押して測定するタイムに合わせます。定常光モード30m~1/8000s

(例)右上の図のとき▼キーを1度押すと下図のようになります。

● ▼キーまたは▲キーを1秒以上押すと連続変換できます。

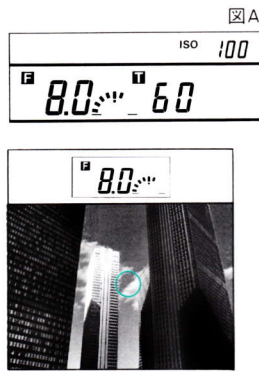


露出の測定

1 露出の測定

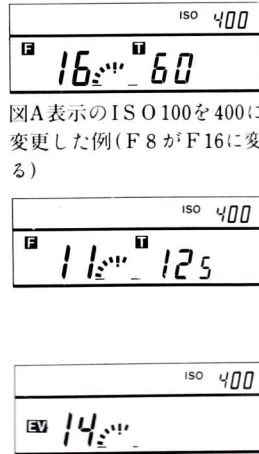
- 前項の「測定準備」に従って測定モード、フィルム感度、タイムおよび受光角をセットします。
- ファインダーをのぞいてサークル(小円)を被写体に正しく向けます。測光スイッチを押すと測定値がファインダー内と液晶表示部に表示されます。

[注意](太陽を直接測定したり、ファインダーでのぞかないでください)



2 測定後の演算

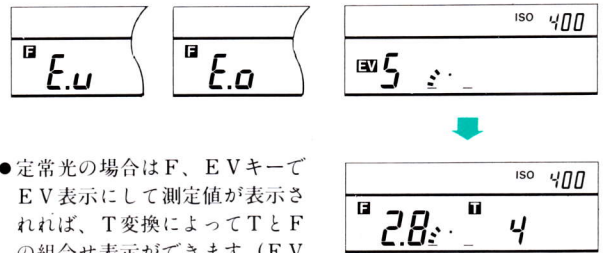
- フィルム感度を変更する場合は測定後、フィルム感度(ISO)の変換により測定値の演算が行なえます。
- 定常光モードの場合はTIMの変換によりF値の演算が行なえます。フラッシュモードでのタイム演算はできません。(▲キー又は▼キーを測定後押しするとF0になります。)
- 定常光モードのみFT組合せ表示⇄EV値表示の演算切換表示されます。



図A表示のISO100を400に変更した例(F8がF16に変わる)

3 測定範囲外の表示

下図の表示が測定範囲外の表示です。



- 定常光の場合はF、EVキーでEV表示にして測定値が表示されれば、T変換によってTとFの組合せ表示ができます。(EV値でも、EU、EOであれば測定範囲外。)

4 ムービーカメラの場合

- 測定方法は定常光と同じです。表からコマ数(8、16、32...)に対応したシャッター速度をセットして測定してください。
- なお中間の12、18、24コマなどは、表の補正量を参考にフィルム感度(ISO)で補正の上測定願います。

ムービーコマ数	8	12	16	18	24	32	64	128
シャッター数	1/15		1/30		1/60		1/125	1/250
補正量	0	+1/3	0	-1/3	+1/3	0	0	0

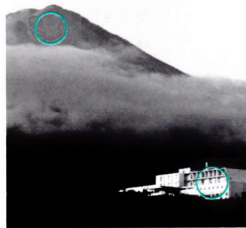
- 1/3補正：使用するISO感度より1つ小さい値にセットします。(例ISO40→ISO32)
- +1/3補正：使用するISO感度より1つ大きい値にセットします。(例ISO40→ISO50)

露出の決定

★スポット露出計で露出を決定する際、一般の露出計と同じ考えで扱いますと思わぬ失敗を招くことがあります。この露出計は、被写

被写体の各部を部分測光して露出を決定するとき

コントラストのある被写体の全体を出したいとき、受光角をスポット(1°)にして、この方法で測光し、露出を決定します。



a 被写体の暗部(シャドー部)を測定し、そのときの露出値(EV)をメモダイアルの“S”の目盛に合せます。(モノクロフィルムの場合は“U”に合せます。)



b 次に被写体最明部(ハイライト部)を測定し、そのときの露出値(EV)を読みとり、その値をメモダイアル上の“H”(モノクロフィルムの場合は“O”)の範囲内にあるか確認します。



c 各目盛が範囲内にある場合はシャドー部とハイライト部の中間の数値をメモダイアル指標(▼)に合せます。そのときのメモダイアルの絞り(f/)目盛と、シャッター目盛の組合せがこの被写体の適正露出となります。

(例)カラーフィルムの場合

- a...シャドー部のEV目盛 8
 - b...ハイライト部のEV目盛 12
 - c...中間値 10
- 適正露出
シャッター速度 1/125 1/8 1s
絞り目盛(f/) 2.8 11 32
(右図写真参考)



d シャドー部を基準にして、ハイライト部のEV値が“H”(モノクロフィルムで“O”)を超えた場合、どちらかを犠牲にして露出を決定するか。ハイライト部に当る光量を制限するか、シャドー部にレフ板等を使用して補助光を当て、明るさを増加させます。



シャドー部基準にしてハイライト部を犠牲にする。

※シャドー部又はハイライト部どちらかを犠牲にする場合

- (例)シャドー部 EV7
 - ハイライト部 EV13
- 写真のように測定露出値(EV)を“S”又は“H”に合わせて、その時の(f/)値とシャッター速度の組み合わせで露出を決めます。



ハイライト部を基準にしてシャドー部を犠牲にする。

アフターサービスについて

※メモダイヤルを使用する場合

液晶表示部のEV値を読みとり、そのEV値をメモダイヤル(▼)指標に合わせてみます。そのときのムービーのコマ数と絞り目盛の組合わせが適正露出です。

【ムービー目盛の換算】

★ムービー目盛は、撮影コマ表示で次のようなシャッター速度になっています。(ムービーカメラのシャッター開角度が180°の場合。)

- 128コマ……1/250sec
- 64コマ……1/125sec
- 32コマ……1/60sec
- 24コマ……1/50sec(赤の線の表示、標準劇映画の撮影コマ数)
- 18コマ……1/40sec(白の点の表示)
- 16コマ……1/30sec
- 8コマ……1/15sec



☆弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引受けする保証書が添付されており、記載事項をお確かめのうえ販売店よりお受取りください。

なお保証書の再発行は致しませんので、取扱説明書と併せて大切に保管してください。

- 無料保証期間などについて
- ① 無料保証期間はお買上げ日より1年間でございます。
- ② 保証書にお買上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
- ③ 無料保証期間内でも有料修理となる場合もございますので、保証書の記載事項をお確かめください。
- ④ 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

が残ると思われまますものにつきましては修理不可能となる場合があります。

- 補修用性能部品の保有期間などについて
- ① 補修用性能部品は5年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお故障箇所によりましては期間が過ぎても修理可能な場合もありますのでサービスセンターにお問合せください。
- ② 修理可能期間はお使用の状態や環境、お手入の状態などによって異なる場合がありますので、現品をご持参のうえお買上げ店またはサービスセンターにご相談ください。
- ③ 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショック、その他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題

- 修理ご依頼時における留意事項
- ① 修理品につきましては、故障内容、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
- ② 修理をご依頼されたものの中には、単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、⓪の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。

- 転居の場合の手続きについて
- ① 転居で販売店にご依頼しにくい場合は、最寄りのサービスセンターにご相談ください。

- お問合せ先について
- 本製品の保証、修理、使い方などのお問合せは、最寄りのサービスセンターをご利用ください。

取扱い上の注意

お買い上げいただいたセコニック・デジスポット L-488 は、多くの電子部品で構成された精密電子機器ですので、下記の点にご注意ください。

- a. 落下、または急激な衝撃は絶対にさけてください。
 - b. 極度の高温、多湿な場所には保管しないでください。
 - c. ファインダーレンズは汚さないように注意してください。汚れた場合は柔らかい布等できれいにふいて使用してください。
 - d. 余分な電池の消えを避けるため、使用時以外は、できるだけON・OFFスイッチをOFFにしてください。
 - e. この露出計の使用温度範囲は、0℃～+40℃です。
- 万一故障がございましたときには、最寄の営業所、またはサービス・ステーションにお持ちください。お近くに、営業所またはサービス・ステーションがなく郵送される場合には厚さ3cm以上の衝撃よけパッキングに包んでから、段ボールなどで梱包してください。

体のスポット(部分)測光と平均測光ができます。

フラッシュ撮影の場合、定常光(a-d)の測定と同じ方法で測定しそのときのEV値をメモダイヤルの“S”(“U”)、“H”(“O”)で計算して露出の決定をします。(フラッシュの場合はメモダイヤルのシャッター速度は使用しません。)



【参考】露出値(EV)目盛の数値によるコントラスト比は表のとおりです。

露出値(EV)目盛の差	コントラスト比	備 考
1	1 : 2	
2	1 : 4	
3	1 : 8	
4	1 : 16	
5	1 : 32	カラーフィルム撮影許容値
6	1 : 64	
7	1 : 128	モノクロームフィルム撮影許容値

2 被写体の平均輝度で露出を決定するとき。

被写体の明暗が占める割合によって明部の面積が多いときは全般に露出不足気味になり、暗部の面積が多いときは露出過度気味になります。このことを考慮に入れてカメラの画角及び被写体に応じて受光角切換ノブをSP又はAVにして、被写体の明暗比の中間を測定して露出を決めてください。



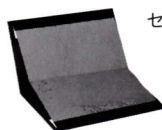
6×6

35mm

レンズ焦点距離	視野角	レンズ焦点距離	視野角(対角線方向)
(標準) 80mm	56°	50mm	47°
(170)	28°	85	28°
180	26.5°	100	25°
200	24°	135	18°
250	19.3°	200	12°
300	16.1°	300	8.2°
400	12.1°	400	6.1°
500	9.7°	600	4.1°
(592)	8.2°	800	3°
600	8°	2000	1.2°

3 標準反射板を利用して露出を決める方法

被写体と同じ光線状態にして標準反射板(18%反射)を測定して露出計を決めます。



セコニックスタンダードリフレクター(標準反射板)
反射光式の露出計で被写体の平均値を測定するのに便利です。
サイズ: 69×117mm ¥1,800



- 〈東京営業部〉 東京都新宿区千ヶ谷田町3-8 新柵ビル
〒162 ☎03(269)7243(代表)
- 〈大阪営業所〉 大阪市東区本町2-25 本町ビジネスビル
〒541 ☎06(263)1571
- 〈名古屋営業所〉 名古屋市中区栄5-8-14 万国ビル
〒460 ☎052(251)6201
- 〈本 社〉 東京都練馬区大泉学園町7-24-14
〒177 ☎03(978)2330
- 〈東京サービスセンター〉 東京都新宿区千ヶ谷田町3-8 新柵ビル
〒162 ☎03(269)7241